

見応えあり！自主制作作品も

パラアート展当日、会場には個性的な自主制作作品も並びました。見学に訪れた「放課後等デイサービスふくふく」のメンバーは、他の事業所の作品にも興味津々！「次はこういうのをやってみようよ」と話す姿も。



ご来場者様アンケート  
ありがとうございました

商品にして売れないかしらと思いました。

色をじっくり見ました。  
美しい色の作品でした。

発想力豊かで  
刺激を多く受けました！

力作ぞろいで圧倒されました。  
皆様、発想がすごい。

事業所ごとのブースで  
個性が出て面白い！

共生社会の実現に向けて  
パラアートの価値を広めたい

「調布市ではパラアートの活動を、福祉の枠を超え「共生社会の実現」に向けて、全ての市民のための芸術文化活動として位置づけ、支援しています」(調布市生活文化スポーツ部文化生涯学習課係長・山田敦子さん)パラアート展が始まった当初は、個別に声をかけて作品を集め、展示するというシンプルなものだったのだそう。作品の持つパワーに触れるうちに「多様性の素晴らしさを、もっと多くの人に伝えたい」という思いを持つ人たちが増えました。「今は、行政と調布市福祉作業所等連絡会と一緒に企画会議を重ね、一から作り上げるイベントになりました。今回は地元企業や連絡会に加盟していない団体なども参加しています。今後はより多くの方に楽しんでいただけるイベントとして定着していったほしいです」(山田さん)

動画配信も！

誌面で紹介しきれない作品の魅力を伝える動画を配信しています。こちらからどうぞ。



調布市動画ライブラリー  
「パラアート展 2021」



地元の企業「アフラック・ハートフル・サービス(株)」も参加。

逸品誕生  
ストーリー  
vol.2

キュート&ほっこり、どれか一つを選べないかわいさ！  
羊毛フェルトマスコットみつばち

みつろうキャンドル作りから  
生まれた事業所のシンボル

天然素材だけが持つ優しい風合いとビタミカラーの小さなマスコットは、持っているだけで元気をもらえそう。よく見るととても細かい作りで、一つ一つ表情が微妙に違うのも作り手の個性が伝わり、どれか一つを選ぶのが難しいほど。サイズは大中小とあり、写真の一番小さいものが税込み450円。



「このみつばちは、事業所のシンボルの存在なんです」と話すのは施設長の由良洋子さん。「環境や体に優しい素材を使う手仕事にこだわる中で、みつろうキャンドルの品質のよさが評価され、事業所の看板商品に。以前、ある見本市に出品する際に何か目印になるマスコットがあればいいね、と考えたのがこのみつばち。みんなの意見で少しずつデザインも改良し今のスタイルに。チクチクとひたすら針で刺し固める根気のいる作業ですが、『シンボリックなものに携われて嬉しい』『自分の作ったもので人が喜んでくれるのが楽しみ』とメンバーのやりがいに。ほかにも

様々な手仕事や、体に優しい食材で料理を作り共に味わうなど、質のいい時間を過ごし、元気になる事業所。作品を通して使い手の方にも元気が伝われば嬉しいです！

リフレッシュ  
工房

福祉作業所セレクトショップ「若草」で見つけた逸品をシリーズで紹介。今の季節にぴったりの温かみある羊毛フェルト作品が有名な「リフレッシュ工房」さんにお邪魔しました。



作品作りの基本となるフェルトボール(基本玉)。



ほんのり甘い香りが人気の看板商品のオーダーも可能。



ほかに個性豊かな作品がたくさん。オリジナル作品のオーダーも可能。



施設長の由良さん。「みつばちは地球環境問題のシンボルでもあります」



基本情報

NPO法人  
リフレッシュ工房

調布市小島町1-4-18メゾン調布102  
042-486-4531

逸品に出会える場所 セレクトショップ「若草」… 手作りスイーツ、1点物ハンドメイド作品など、市内の福祉作業所選りすぐりの品を展示販売しています。(調布市総合福祉センター1階 月・水・金 10時~15時)

※10月末まで休止中。コロナウィルス感染状況を踏まえ再開します。